

第 10 回 観音寺市民会館開館準備実行委員会【要約】	日時 平成 27 年 10 月 27 日(火)19:00~21:00
	場所 観音寺市役所 2 階 201 会議室
出席者	委員 11 名、事務局 4 名、事務局補 2 名
議題	(1) 第 8 回議事録(要約)について (2) 開館記念事業について (3) その他
<p>1. 開会 開会のあいさつ。</p> <p>2. 委員長あいさつ 委員長のあいさつ。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 第 9 回議事録(要約)について 資料を元に議事録(要約)について説明。確認の後、内容を承認。 承認された議事録を市のホームページで公開する。</p> <p>(2) 開館記念事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から開館記念事業についての説明 → 前回の討議をうけ、オーケストラについて問い合わせを行ったが、海外オーケストラ A、海外オーケストラ B については予算の関係で招聘が難しい。 → 国内オーケストラ A については 90 名程度の編成で回答をもらったが、予算的には招聘の可能性はある。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回に引き続き記念事業についてご議論いただきたい。 ・ 海外オーケストラは大手企業がスポンサーとなる場合が多く、スポンサーが付かないと招聘が厳しい現状にある。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポンサーは期待出来ないのか。入場料はどの程度になるか。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポンサーとなるのは大手企業の場合が多い。 ・ オーケストラ 90 名編成は、人数が多い編成である。曲次第ではあるが、概ね 80 名程度が多いのではないかと。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入場料については、赤字を出さないようにするならば 1 枚 10,000 円を超える。市からの補助があるものの、10,000 円も高額なので、記念事業として適切な価格もご議論いただければと思う。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内オーケストラ A の場合は、東京公演でもチケット価格を 10,000 円には設定していない。 <p>【事務局補佐意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京の場合は交通費、宿泊費がかからない分、地方公演より費用が抑えられていると思われる。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県で行っている演奏会では、チケット料金はいくらくらいに設定されているのか。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、香川県県民ホールで行った公演では 1 席 6,000 円から、安い席だと 4,000 円程度だった。その価格が目安ではないかと考えている。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日に 2 ステージ行うことは可能なのか。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日 2 公演はあまり行われていない。 	

- ・ 観音寺で公演をするならば、中国・四国地方の数カ所にて公演を行うのだと思うが、価格的には単発の公演に近い予算規模になっているのではないかと。

【委員意見】

- ・ 音楽にかぎらず、他のジャンルの話についても意見を伺いたい。多ジャンルについても検討した上で、最終的な結論を出したい。
- ・ 例えば、小ホールについてはご意見があるか。こけら落としは土曜日の予定だが、日曜日は何もイベントは行わないのか。

【委員意見】

- ・ 国内オーケストラ A は非常に質の高いオーケストラである。クラシックファンは喜ぶと思うが、一般市民でクラシックに興味のない人はどう感じるか、ということも考えねばならない。
- ・ 今までに話がでていた、劇団 A や能・歌舞伎も良いと思う。
- ・ バンドは小編成であれば予算は比較的抑えられる。クラシック以外の演目も必要ではないか。個人的にはビッグバンドが招聘できれば良いと思っている。
- ・ 市民の多くは、テレビで良く見たり聞いたりするような、有名なものを観たいと考えているのではないかと。

【委員意見】

- ・ ポップス系の公演であれば、指定管理者が行うことも考えられる。

【委員質問】

- ・ 式典からこけら落としのスケジュールは配布資料どおりか。
- ・ 記念事業以外のことも考えねばならない。

【委員意見】

- ・ こけら落とし翌日の日曜日に何を行うかというのも重要である。

【委員意見】

- ・ 日曜日に記念事業を入れないのであれば、指定管理者が自主的に興業的な催しを行うだろう。

【委員質問】

- ・ 大ホールを使うことは特に問題ないか。

【事務局回答】

- ・ 土曜日のこけら落とし公演が終わってからの準備で間に合うならば使用可能である。

【委員意見】

- ・ そうなると舞台公演は難しいだろう。

【委員意見】

- ・ 工夫次第では舞台公演も可能ではないか。市で催しを行わないならば、指定管理者が何か催しを検討する可能性があるだろう。

【委員意見】

- ・ 記念事業で行うならば、採算をとるのが難しいために、今後は公演を行う可能性が低い催しを優先した方がよいという意見も出ている。
- ・ ビッグバンドであれば県内で活動している方々もいらっしやる。

【委員意見】

- ・ 呼べるのであれば有名なビッグバンドを招聘したい。

【委員意見】

- ・ オーケストラよりもジャズの方が予算が抑えられる傾向にある。

【委員意見】

- ・ 指定管理者とも相談したいが、ゆくゆくは全国おやじバンドフェスなども計画したいと考えている。

【委員意見】

- ・音響性能に優れた小ホールは、市民会館の売りになるのではないか。
- ・小ホール公演も、質の高い催しであれば、チケット料金が高くても集客が見込めるのではないか。

【委員意見】

- ・劇団 A という意見もあったがどうか。

【委員意見】

- ・可能ならば是非公演をお願いしたい。

【事務局意見】

- ・劇団 A からは、事務局に対しても上演可能な公演の案内を頂いている。とくに演目 A という小学生を対象としたプログラムであれば、毎年公演を行うことも可能とのことだった。開館記念事業でも、招聘できる可能性は高いと考えている。
- ・演目 A については、実施を予定しており、資料にも掲載している。

【委員意見】

- ・歌舞伎を行うならば、赤字になるだろう。

【委員意見】

- ・金毘羅歌舞伎は、チケットが手に入らないほどに有名である。
- ・チケット料金は 20,000 円程度にはなるだろう。
- ・最近話題になっているワンピース歌舞伎などならば、歌舞伎に興味のある人以外も観たいと思うのではないか。

【委員意見】

- ・歌舞伎といっても、大歌舞伎のようなものから、比較的少人数で行っているものまで色々ある。

【委員意見】

- ・費用はわからないが、歌舞伎も自主公演を行っている方がいる。以前に鑑賞したが、しまなみ歌舞伎では、前半は鑑賞教室で後半は上演を行うという構成になっていた。そういったレクチャーがある公演であれば、また違った見方ができて面白いのではないか。

【委員意見】

- ・小ホールで行う演目についてだが、文化的アプローチの観点から言えば、子どもたちを育成することに重きを置かないと伸びていかない。子どもたちの育成を行い、その受け皿になる場として、子どもたちの演目を小ホールの記念事業とすることを考えていただけたらと思う。

【事務局意見】

- ・育成普及事業については、記念事業ではなく自主事業で行うことを想定している。

【委員意見】

- ・記念事業だからこそ、今から 1 年程度の期間で開館までに子どもたちを育成、その成果を記念事業として発表するという事は考えられないか。そういった取り組みを行うことで、市民会館では子どもたちを育てるというブランドができ、施設の方向性が出る。

【委員意見】

- ・市民ミュージカルを行われている委員もいるが、ご意見はあるか。

【委員意見】

- ・私たちは演出と音楽の方を関西から呼び、市民スタッフがサポートに入っている。地域の中で指導者を探すのが経費の面では効率的だが、子どもたちに、プロの指導を受け、自信を持って発表に臨むという特別な感覚を与えたいという思いがある。また、子どもたちの芸術性を高めたいと考え、外部からプロの方々に来ていただいている。
- ・子どもと大人が参加し、親子三世代が参加できることを目指している。「まちなか市民ミュージカル」とのネーミングどおり、当初はホールで公演を行うのではなく、市民の参加を得て

公演を行いたいとの趣旨から活動が始まった。

- ・市民会館が開館し、練習から発表までを市民会館で積み重ね、毎年繰り返すということを行うと、考え方も全然違って来るだろう。
- ・昨年、マリンウェーブフェスタで小さい発表会を行った。マリンウェーブを利用して、その地域で発表を行うという感覚はこれまでと全く違うものだった。

【委員意見】

- ・今の話にもあったように市民会館がそのようなプログラムを行わなかったら、人がマリンウェーブに流れてしまう。

【事務局回答】

- ・開館以降育成事業を計画する予定でいる。例えば、1年かけてワークショップの中で稽古を行い、最後に発表会を行うなどのプログラムは計画していきたい。

【委員意見】

- ・開館してからのスタートならばブランド化するまでに数年かかる。開館したときに行わなければ、市民へも市外へもアピールできない。
- ・一度、「つまらない」というイメージが付いてしまうと、そこから脱却し、集客を行うのは難しい。
- ・現在のホール施設を見ても、「よいオーケストラをやる」というブランドイメージが確立している施設は、遠くからも集客ができています。

【委員意見】

- ・やれることをやっていくということは重要である。ただし、ブランド化に拘らず、具体的な事業を挙げ、開館記念のプログラムを検討することも重要である。
- ・例えば開館記念でミュージカルを行うならば、開館前から組織的な立ち上げが必要となる。そういった部分と、実際にどの演目を選ぶかということとを並行して考えねばならない。

【委員意見】

- ・何をやるかの前段として育成をし、そこに持って行こうということをお願いしたい。目的達成のためには手段を持たなければ、いきなりやろうとしても実現することはできない。

【委員意見】

- ・文化は醸成されていくものである。開館と同時に出来上がっている、というのは無理があるのではないかと。柔軟に、長い目で見ていくことが必要と考えている。

【委員意見】

- ・行政の立場からすれば、団体の公平性を考えるだろう。例えば、開館記念事業のために公に募集をかけて人を集めるということならば可能だが、既にある個別の市内団体と提携するとすると、他の団体に対して公平性が保てない部分もでてくる。希望があるなら公に募集しなければならぬ。
- ・ただし、育成はせねばならないことは重々承知している。

【委員意見】

- ・私たちの活動は、サポーターは決まった人が行っているが、参加者は公演毎に新たに募集している。サポーターは、同じ人が継続しなければ組織の維持が難しい。

【委員意見】

- ・記念事業で行われるかどうかは別の問題として、育成は必要かつ重要なことである、という認識は皆さんお持ちになっていると存じる。

【委員意見】

- ・個別の意見に戻るが、具体的な事業名で言えば、タレント A の話が聞きたい。また、芸術家 A を見てみたいと思っている。

【委員意見】

- ・芸術家 A は、家庭と夫婦のあり方というテーマで講演をされており、以前 PTA でも聞いてみたいという声があった。

【委員意見】

- ・歌舞伎、ミュージカル、ビッグバンド、ポップス系などの意見がでたが、実際に四国地方にきているかどうかという問題もある。歌舞伎ならば関西と関東でも違う。また、各演目の金額がわからないと検討が難しい。

【委員質問】

- ・歌舞伎の自主公演ならば規模が大きくない公演も多い。金毘羅歌舞伎のような規模になると経費がかかる。

【事務局回答】

- ・確認をさせていただく。

【委員意見】

- ・小ホールも市民団体にこけら落とし公演を行っても良いのではないかと。
- ・公募などクリアしなければならないこともあるが、市民全体から公募して1年かけて創るならば良いのではないかと。

【委員意見】

- ・2日目も市民が公演を行うと位置づけるならばそれも良いだろう。

【事務局補佐意見】

- ・市民ミュージカルなど市民が参加する公演や繋がりは、地域としての財産となる。ただし、市民ミュージカルとするのではなく、プレ事業における冠事業として応募してもらい、事業に参加していただくということも考えられるのではないかと。
- ・劇団 A の演目 A などの公演と関連して、市民ミュージカルに対してのワークショップなどに役者を派遣してもらい、子どもたちを対象にしたワークショップを行っていただけないかと。そういったことが出来ると、プレ事業の市民ミュージカルと、開館記念事業のプロのミュージカルが上手く繋がるのではないかと。

【委員意見】

- ・そのように循環したシステムを構成するかが、市民会館を核として文化芸術が伸びていくことに繋がる。その循環をどう作り出すか。

【委員意見】

- ・子どもを対象とした事業で一番重要なのは、そこに地域の大人が来ることである。今言ったような繋がりがあるのであれば、芸術的活性化があり、行動力も上がるのではないかと。大人の人数が多ければ公演のためのハードルも下がる。循環型のシステムができると違ってくると思う。

【委員意見】

- ・こけら落としでミュージカルを行うという意見が出たので、一度検討していただければと思う。

【事務局補佐質問】

- ・市民ミュージカルは小ホールで行える規模なのか。

【委員回答】

- ・小ホールでは舞台面が狭いので、転換などが難しく、厳しいのではないかと。ただし、現在もホールがない状態で公演を行っていることを考えると、可能なのではないかと。

【事務局補佐意見】

- ・そうすると、無理に2日連続して公演を行わずに、きちんとした広い舞台面で公演を行うことが望ましいのではないかと。
- ・他の施設の開館記念事業の事例を見ても、2日間式典を行っているホールもある。式典はほぼ関係者が席が埋まるので、1日目に式典と見学会、2日目に市民のイベントを行っている事例もある。

【委員意見】

- ・それならば先にミュージカルを行い、休憩時間に装置を撤去して吹奏楽の公演を行うなどの

工夫しだいで、2日連続公演を行うことも可能か。

【事務局補佐意見】

- ・吹奏楽のひな壇を活用した舞台装置を創るという方法も考えられる。

【委員意見】

- ・その範囲で行える舞台装置となると、その形で演出をつける必要があるが、それができる人材がいるかどうか問題になる。
- ・出演者が素人なことを考慮すると、前々日から舞台でリハーサルを行わなければ難しいだろう。

【委員意見】

- ・舞台装置などの工夫次第で不可能ではないだろう。

【委員意見】

- ・舞台装置を転換するのにどの程度の時間がかかるかも問題になる。

【事務局補佐意見】

- ・例えば、吊られている幕の処理と音響反射板をセットするのに1時間、ひな壇を組むのに30分～40分かかり、そこから演奏の準備を行うとなると2時間程度はかかる。

【委員意見】

- ・記念式典の後にミュージカルを行い、その後に吹奏楽の公演を行うならば可能ではないか。

【委員意見】

- ・式典をした後のミュージカルは難しいだろう。

【事務局意見】

- ・式典は小ホールで行う予定なので、そこから大ホールに移ってミュージカルを行うことは可能である。

【委員意見】

- ・連続して2日間でなくとも、毎週なにかイベントが行われていたほうが良いのではないか。

【委員意見】

- ・ミュージカルはこけら落としの次の週でも良いのではないか。

【委員意見】

- ・色々ご意見をいただいた。吹奏楽の演奏に加え、市民ミュージカルの発表も候補として検討するという事によろしいか。
- ・日付については連続で行うのか、別の週にするのかは検討していく。

【委員各位】

- ・異議なし。

【委員意見】

- ・ジャズの件だが、例えば丸亀市民会館がジャズを行っている前後などに、市民会館と市内のライブハウスと提携して、ひとつのチケットで全部回れるようにすることは可能か。

【委員意見】

- ・丸亀のコピーのような形になるので、市民会館だけで行ったほうが良いのではないか。

【委員意見】

- ・市民会館で大きなイベントをして、廻りでも色々イベントやっているほうが、お祝いムードがあり楽しいのではないかと思った。
- ・色々な場所でイベントやっていると、日頃のちょっとした興味を増やせるかと思ったが、準備は難しそうである。

【委員意見】

- ・市内のライブハウスとの提携は、オーナーがいかにか賛同してくれるかにもよる。例えば、AホールはいっぱいだがBホールは集客できなということになると難しい。それならば、マリオンウェブと丸亀市民会館と市民会館で提携するというのであれば、面白いのではないか。

【委員意見】

- ・ジャズの公演に対して足を向ける人が少ないのではないかとというのが不安である。

【委員意見】

- ・ マリンウェーブが行っていることで、少しずつジャズに親しむ人も増えてきている。波打八幡神社でのジャズフェスティバルにも、全国からお客さんが来ている。

【委員意見】

- ・ 記念事業の一番の狙いは、今後の育成に繋げていくことである。市民会館に繋げること、新しい集客に繋げることの2つが重要と思っている。ビッグバンドで集客力があれば、市民会館の存在を知ってもらうことに繋がる。市民会館の存在を知ってもらうことも、先々にとっては重要なことである。
- ・ ポップス系は数多くあるので、指定管理者が事業として実施するだろう。

【委員意見】

- ・ 小ホールの事業計画の中に映画上映があるが、「青春デンデケデケデケ」という観音寺市を代表する映画があるので、是非上映していただきたい。
- ・ 観音寺市を舞台にした映画をシリーズにして上映するのも面白い。

【委員意見】

- ・ 平日昼間の映画上映なども実施されるだろう。昔の映画を観たいという方も多い。

【委員意見】

- ・ 映画は観たいが、見られる場所が宇多津あたりに行かないとならないのがネックになっている。観られる場所があれば、皆行くだろう。

【委員意見】

- ・ 事務局については、ビッグバンドと劇団A、歌舞伎については可能性を考えていただく。あとはタレントAやポップスコンサート等、集客が期待できる事業は指定管理者にお任せするという方向でよいか。

【委員意見】

- ・ テレビの公開録画などはどうか。

【委員意見】

- ・ 記念事業かどうかは別として、可能性はあるだろう。

【委員意見】

- ・ 昔の話だが、国内オーケストラは、その地域が田舎であっても音楽性が保たれているホールであれば演奏していた。

【委員意見】

- ・ 集客も絶対とはいえない。クラシックファンにとっても面白くない曲もある。皆が知っている曲だと興味も持ってくれやすい。

【委員意見】

- ・ 落語などはどうか。

【委員意見】

- ・ これまで落語に親しんだことがなくても、実際に聞いてみると面白い。

【委員意見】

- ・ 先日出た意見の中で、海外ミュージシャンAの公演はどうか。

【委員意見】

- ・ 記念事業で行われるかは分からないが、何らかの形で実施したいとは考えている。

【委員意見】

- ・ 今年実施した国際音楽フェスティバルは開館年度に再度実施される可能性が高いと思う。

【委員意見】

・国内オーケストラ A はスケジュールもあるが、開館記念事業として招聘するという方向性で
よいか。市から 800 万程度の負担は出ることになるが、開館記念事業でなければ招聘は難
しいだろう。

・聴きに来るのは、市外からの方の方が多いかもしれないが、広く市民会館の存在を知って
もらえることにはなる。

【委員各位】

・異議なし。

【委員意見】

・200 席程度、子どもを無料で招待するなどができたら良い。

【委員意見】

・高校生以下は 1,000 円などの料金設定があるとよい。

・市内在住の子どもはいくら、といった設定も考えられる。

【委員意見】

・優待や割引を行うほど市の負担は増える。教育普及という機運が高まっていれば、市民から
も認知されるだろう。

【委員意見】

・無料ならば観に行きたいということはあると思うが、金額に関わらずチケット料金を支払い
観に行く、というスタンスを子どもに教えることも重要である。子どもの意識を育てること
に繋がる。

【委員意見】

・値段設定などは後の検討課題とする。協賛を集めることも考えられる。

【事務局補佐意見】

・子どもたちに鑑賞機会を与えるために、民間企業に寄付を募る事例もある。その場合は金額
ではなく、何枚かチケットを買ってもらい、そのチケットを子どもたちの分としてプレゼン
トするという仕組みである。企業側も明確な目的があると、協賛しやすくなる。

【事務局意見】

・今回挙げられた演目の予算規模については、次回の委員会で報告できるようにしたい。

・記念事業については色々と意見が出ているので、事務局の方でまとめて資料として配布する。

(3)その他について

【事務局】

・次回第 11 回は 11 月 24 日の火曜日、第 12 回は 12 月 21 日の月曜日を予定している。場所は
同じく観音寺市役所 2 階会議室である。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上